

【地域社会システム専攻】修士課程 第2期(2月)実施分の外国語「日本語」の問題文は著作権上の都合により掲載しておりません。  
ご不便をおかけしますことお詫び申し上げます。

入学年度および実施時期	2025年度 第2期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	文学研究科
専攻・コース等	地域社会システム専攻
入試方式	留学生入試
科目名	日本語
試験実施日	2025年2月13日

解答又は解答例及び出題意図  
(試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)

**【出題意図】**

著作権上の都合により掲載しておりません

**【解答例（採点時の観点）】**

著作権上の都合により掲載しておりません



入学年度および実施時期	2025年度 第2期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	文学研究科
専攻・コース等	地域社会システム専攻
入試方式	留学生入試
科目名	選択（その1）
試験実施日	2025年2月13日

解答又は解答例及び出題意図  
（試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと）

**【出題意図】**

大問3問を出題した。1. は社会学を中心とした関連諸分野（福祉・教育）についての基礎知識があるかを確認するために、計8の用語から3つを選択しその簡潔な説明を求めた。2. 3. は論述問題であり、\*\*について、自らの考えを理論的にまとめることができるかを確認するとともに、基礎的な社会倫理の知識があるかを確認するために、論述することを求めた。

**【解答例（採点時の観点）】**

1. は、社会学を中心とした関連諸分野についての計7の用語から3つを選択し、その内容を説明するものである。語句説明の仕方は複数ありうるとともに、用語すべてについて回答例を示すと膨大な分量となるため、以下に、採点の基準のみを示す。

- ・用語の正確性：説明が社会学の標準的な理解と一致し、核心的な特徴を捉えているか。
- ・説明の簡潔性と明瞭性：冗長さを避け、1-2文で本質を的確に表現しているか。
- ・社会学的文脈の適切性：社会学の理論・研究領域と関連づけられているか。

2. 3. は論述問題である。それぞれ社会学の基礎的知識を問うのみならず、多角的な視点から論証できるかを確認するものである。論述の仕方は複数ありうるため、ここでは回答例を提示せず、それぞれについて採点時の観点のみを解説する。

2. は、「文化資本」概念を正確に説明させ、現代の教育格差問題に適用させることで、理論の理解と現実社会への応用力・批判的思考力を評価する。

採点時の観点

- ・概念について文化資本の三形態や再生産機能を正確に記述できているか。
- ・理論を現代の教育格差の問題に接続して述べられているか

3. は、社会構築主義の基本概念を簡潔に説明させ、その社会学研究への影響を論じさせることで、理論の正確な把握と批判的応用力を評価する。

採点時の観点

- ・社会構築主義を本質主義との対比で明示できているか。
- ・社会学研究（ラベリング論、質的調査の重視等）と関連させて記述できているか。

# 2025(令和7)年度 愛知大学大学院入学試験

(2025. 2月実施)

受験番号	
------	--

## 修士課程

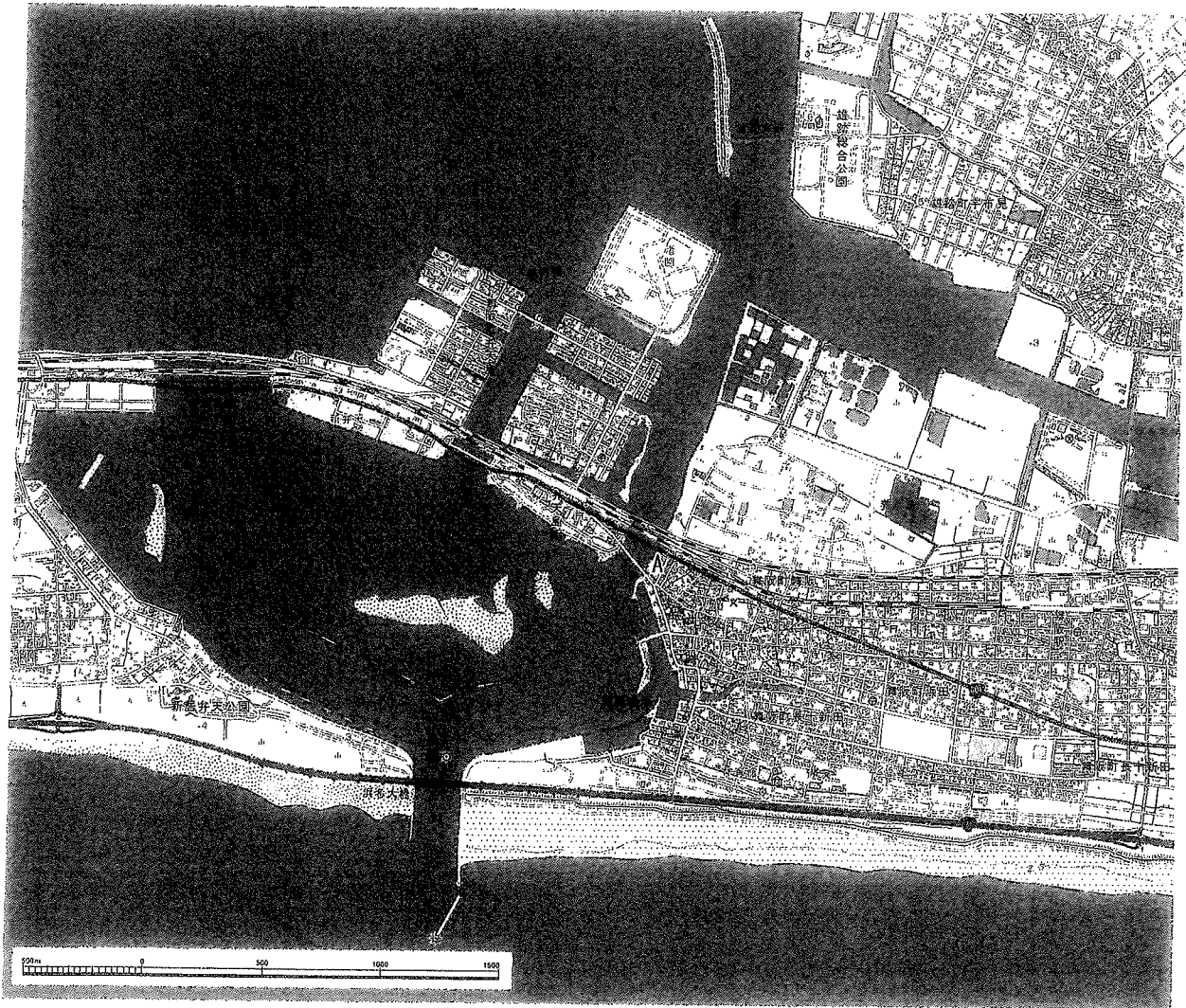
文学研究科 地域社会システム専攻	
専門科目	
科目名	選択 (その2)

採点欄	
-----	--

下の地形図をもとに、次の設問に答えよ。

〔設問〕

あなたは、静岡県浜松市の防災担当職員として、市の支所（地形図中「A」）に赴任し、周辺地域の防災計画を策定することになったと仮定します。その上で、あなたはどのような地域防災計画を策定するのか、想定される災害の種類や地域の自然的・人文的特徴を踏まえ、あなたの策定した地域防災計画を記しなさい（解答は用紙の裏面に及んでもよい）。なお、解答にあたっては地形図中の地名や施設を積極的に取り上げてください。また、地形図中に適宜加筆を行い解答文の助けとしても構いません。



出典：国土地理院発行 2.5 万分 1 地形図

-----

-----

-----

入学年度および実施時期	2025年度 第2期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	文学研究科
専攻・コース等	地域社会システム専攻
入試方式	留学生入試
科目名	選択（その2）
試験実施日	2025年2月13日

解答又は解答例及び出題意図  
(試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)

**【出題意図】**

浜松市の浜名湖今切付近の地形図を読解して、市の防災担当職員として、当地の防災計画を担当すると仮定した時の、具体的な防災計画を示させる内容である。地域社会システム専攻で学習した内容を高度職業人ならびに研究者として具体的に地域計画として役立てる姿勢と立案能力、その基礎となる学力の程度を確認する意図で出題した。

**【解答例（採点時の観点）】**

採点時には次の観点から総合的に評価を行う。（1）地形図から当地域が抱えている災害への脆弱性と耐性（津波や洪水へのリスク、道路網や家屋の密集度、防災拠点となりえる公共施設の数と分布等）を適切に読解できているか。（2）上記を踏まえた防災計画（避難所の配置、防災拠点整備、避難路・救援路の確保、堤防の整備等）を具体的に立案できているか。（3）特に、当地域が度重なる南海トラフ地震の津波被害を受けてきた歴史（図中の「今切」は1498年地震津波の影響で形成されたことへの知識があるか）を理解し、その上で南海トラフ地震による地盤変動、液状化の被害予測とその後来襲が予想される大津波への具体的な対応が提案されているか。



入学年度および実施時期	2025年度 第2期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	文学研究科
専攻・コース等	地域社会システム専攻
入試方式	留学生入試
科目名	選択（その3）
試験実施日	2025年2月13日

解答又は解答例及び出題意図  
（試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと）

**【出題意図】**

社会学より広い分野についての出題ゆえ、現代社会における課題について広く問うた。福祉レジームと家族、ジェンダー、貧困と格差、再分配の在り方など、地域システム専攻にふさわしい、社会構造やシステムを問う出題とした。どれも現代社会を考えるうえで欠かせないテーマであり、理解や解釈の観点を持っていることが望ましいと考えた。

**【解答例（採点時の観点）】**

模範解答例があるというよりも、受験者の、この四つのテーマへの向き合い方や観点を問うもののため、採点時の観点のみを解説する。

ベーシックインカムとワークフェアについては、グローバリゼーションと新自由主義の進行、雇用縮小の中で、再分配にかかわる重要な論点である。社会的介護の再家族化は、日本では2000年の介護保険とそのサービスの実質の縮小として起きている現象であるが、福祉などの政府のサービスや再分配の縮小の中で、先進国において起きている現象である。それはジェンダー問題とも関与する。フェミニズムに対するバックラッシュについては様々な文脈と背景があるが、新自由主義の矛盾がケアの切り捨てにおいて現れている現象でもある。中間層の没落と格差の拡大もグローバリゼーションと新自由主義の拡大のもとで、多くの国でみられる現代の社会構造の問題である。

4つの観点はこの意味で連動し、同じ構造として展開しているものでもある。単に概念の説明ではなく、社会構造と変動の問題を捉えているかを評価した。